

**「EXILIM」ズームモデルが
シェアトップに**

「ウェアラブル・カードカメラ」という新しい市場を開拓した「EXILIM」。2002年6月の1号機発売以来、わずか10ヶ月で100万台を売り上げる大ヒットシリーズとなりました。2003年3月に発売されたシリーズ初の320万画素CCD・光学3倍ズーム付きモデル「EX-Z3」は、発売後、瞬く間に売上首位となり、単独機種として4月のNo.1となりました（GfK Japan調べ）。

**電波時計の売上が前期比4倍の
100万台に**

時刻修正不要の電波時計。2002年度の売上は、前期比4倍の100万個を記録しました。今期は高密度実装技術により大幅な小型化を実現した女性向けモデルも登場。また耐衝撃性能に加え、高性能ソーラー駆動システム「タフソーラー」による電波機能のソーラー駆動を実現したGショックシリーズ最高峰「The G」は高い評価をいただいています。

携帯電話、auでシェアNo.1を獲得

カシオは2002年4月にauブランド初のカメラ付き第三代携帯電話を開発、大ヒット商品となりました。これに続き昨年12月には「ムービーメール」や「着うた」などの新サービスに対応し、ビジュアルコミュニケーションの楽しさを徹底追求した後継機種を発売し、auでNo.1のシェアを獲得しました。



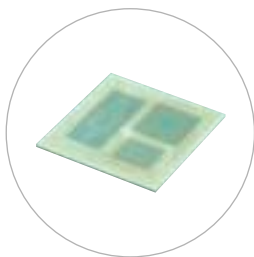
電子辞書がシェアトップを独走



多数の辞書をまるごと収録した電子辞書は、持ち運びに便利な上、優れた検索機能が評価され市場拡大しております。カシオのEx-Word(エクスワード)シリーズは、辞書本来の機能である調べる、学ぶといった機能性に加えて、持ち歩く楽しさを追求した結果、携帯性に優れたハードとして業界最薄9.8mmスタイリッシュボディの商品を開発し、業界トップシェアを独走する人気を博しています。

次世代システム実装技術の共同開発に合意

2002年12月、カシオは日本シイエムケイ株式会社と次世代システム実装技術の共同開発に合意。ウエハレベルCSPを基板に内蔵することで電子機器の一層の高性能化と小型・軽量・薄型化を目指します。複雑化している電子機器の実装に対して、シンプルで低コスト、信頼性の高いソリューションが可能になり、幅広い応用範囲が想定されます。



モバイル機器向け指紋認証デバイスの開発で提携



これからの個人用情報機器に欠かせないセキュリティ保持機能。カシオは2003年2月、アルプス電気株式会社と、携帯電話などのモバイル機器向け指紋認証デバイスの開発・製造・販売に関する業務提携に合意しました。デバイスの基本構成並びにソフトウェアをカシオが、メカニズムの開発およびデバイスの量産をアルプス電気が行います。新開発のデバイスは、中空ロールヘッド方式により歪みのない詳細な読み取りが可能で、なおかつ高密度実装技術でローラー内部に読み取りヘッドや光源を収納したことにより、携帯電話にも内蔵できる超小型サイズを実現しています。